

産業振興に係る市民・事業者意向調査

報 告 書 (事業所の実態調査編)

平成24年3月

鎌倉市

目 次

1. 調査概要	1
1－1 調査の目的.....	1
1－2 調査の概要.....	1
2. 製造業等の実態調査.....	2
2－1 実態調査票の設計.....	2
2－2 調査票の配布・回収方法.....	2
2－3 調査票の回収結果.....	2
3. 実態調査結果の集計・分析.....	3
3－1 実態調査結果のまとめ（分析）.....	3
（１）業績及び経営上・操業する上での課題に関して.....	3
（２）融資制度の利用、鎌倉彫に関連する事業等の検討に関して.....	6
（３）ホームページによる情報発信、情報収集に関して.....	6
（４）他分野や他団体との連携に関して.....	7
（５）鎌倉市環境共生事業等補助制度（製造業、情報通信業者を対象）に関して	8
3－2 個別設問の集計結果.....	9
（１）回答者の属性について.....	9
（２）業績及び経営上・操業する上での課題に関して.....	11
（３）融資制度の利用、鎌倉彫に関連する事業等の検討に関して.....	17
（４）ホームページによる情報発信、情報収集に関して.....	20
（５）他分野や他団体との連携に関して.....	23
（６）製造業、情報通信業者の設問に関して.....	26
 【資料編】	
「製造業、建設業及び情報通信業実態調査」アンケート調査票.....	31

1. 調査概要

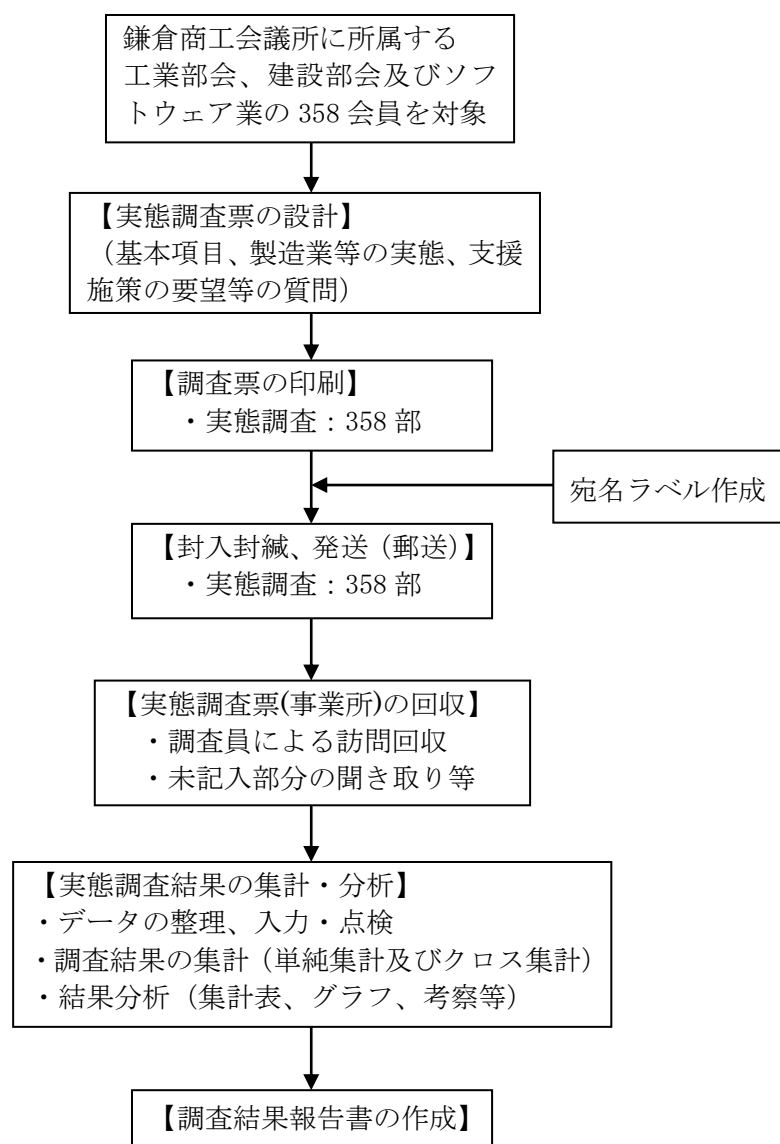
1-1 調査の目的

本調査は、製造業者等の現状を把握し、施策形成の基礎資料を得る目的で実施するものである。

1-2 調査の概要

本調査は、鎌倉商工会議所に所属する工業部会、建設部会及びソフトウェア業の358会員を対象とした製造業等実態調査を実施し、その調査結果について集計・分析を行い、調査結果報告書としてとりまとめを行った。

全体の調査のフローは、次に示すとおりである。



2. 製造業等の実態調査

鎌倉商工会議所の工業部会に所属する 83 会員、建設部会に所属する 259 会員及びソフトウェア業を営む 16 会員（平成 23 年 4 月 1 日現在）の計 358 事業所を対象として実態調査実施した。

なお、実態調査の時期としては、平成 23 年 6 月 1 日から平成 23 年 7 月 31 日までを調査期間として実施した。

2-1 実態調査票の設計

実態調査票は、次に示す項目について設計するものとし、全体で 20 問の質問数とした。なお、作成した実態調査票は、資料編に示すとおりである。

- ① 基本項目（事業者の事業所名、所在地、事業業種、事業所規模等）の質問
- ② 製造業の実態等に関する項目
製造業等の実態、本市の支援施策への要望等についての質問（20 問）

2-2 調査票の配布・回収方法

① 調査票の配布方法

配布は、発送用封筒にアンケート協力依頼文を含むアンケート調査票を封入し、対象事業者(358 事業者)の宛名ラベルを貼り付け、郵送にて発送した。

② 調査票の回収方法

回収は、調査員が直接対象事業所へ訪問して回収した。訪問の際、調査票の回答等に不備等があった場合は、聞き取りを行った。

2-3 調査票の回収結果

調査票の有効回収数は、下表のとおり 188 票（回収率 52.5%）であった。

意識調査回収結果

調査票配布数	有効回収数	回収率
358	188	52.5%

3 実態調査結果の集計・分析

回収したアンケート調査票データについて入力し、実態調査の集計（単純集計、クロス集計）を行った。また、集計結果を基に分析を行った。

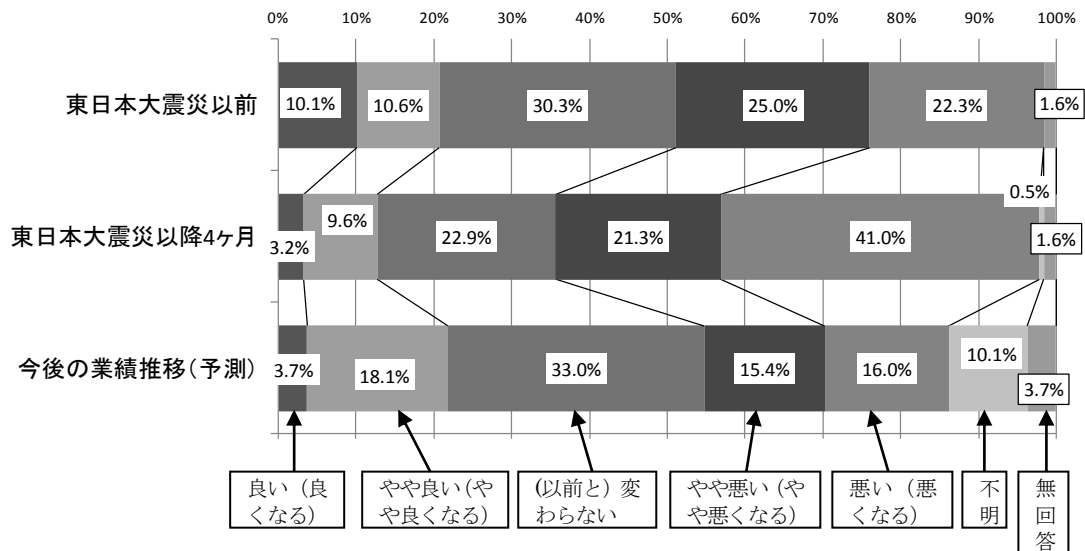
3-1 実態調査結果のまとめ（分析）

（1）業績及び経営上・操業する上での課題に関して【問1～問6】（P11～P16）

① 業績の推移【問1～問3】（P11～P13）

事業所の業績について「東日本大震災以前（平成22年4月～平成23年2月）」と「東日本大震災以降4ヶ月間（平成23年3月～平成23年6月）」を比較すると、「良い・やや良い」は、震災前は21%の回答率であったのが、震災後は13%と低くなり、逆に「悪い・やや悪い」は、震災前は47%の回答率であったのが、震災後は62%と増加している。このことは震災後、鎌倉市においても、消費の落ち込み、電力不足、生産性の低下により、業績が悪化した事業所が多くなり、震災の影響があったためと考えられる。

また、今後の業績推移について、「東日本大震災以降4ヶ月間（平成23年3月～平成23年6月）」を比較すると、「良くなる・やや良くなる」は22%と増加し、「悪くなる・やや悪くなる」は31%と減少している。このことは、「今後の業績の推移」として現時点での業績が底をつき、これ以上の悪化はないという判断もあるものと考えられる。



② 強みとなる製品・技術・設備、経営・操業上の課題【問 4～問 6】(P145～P16)

- ◆他社に比べて強みとなる製品・技術・設備については、82 事業所の回答があり、「技術力に関する強み」の回答が 36 件、「他社にはない独自性による強み」の回答が 16 件、「企画から完成品までの一貫性製造の強み」が 9 件と、この 3 つで全回答の 70%以上を占め、他社との競争に負けない技術、製品を強みとしている事業所が多い。

また、他社との競合が無い製品を安価で提供などの「価格面の強み」や長年の操業実績などによる「地元の強み」を回答した事業所も見られた。

- ◆日本経済が低迷する中、各事業所が生き残るためには自社の強み・弱みを確認し、将来もその強み生かした事業の展開を図ることが重要である。本設問の回答を見ると、自社の経営資源である「技術力」や製品等の「独自性」を強みとして挙げている事業所が多くこれらの回答を反映させた支援などの施策を検討することが必要である。

- ◆経営上における課題については、回答した事業所の半数以上が「受注先・顧客の拡大」と回答しており、売上高を伸ばすことが重要視されていることがうかがえる。

また、「人材育成」及び「人材後継者確保」と人的資源に関する課題も、約半数の事業所が掲げており、適切な人材不足が課題となっている。

その外では、「資金調達」、「生産性の向上」、「技術・製品の開発」など直接的な経営の課題がそれぞれ 10～20%程度の回答があった。回答率は比較的低いがソフト的な課題として「情報の収集・発信」、「法的規制」ともに 9%の回答があった。

- ◆事業所の多くは、東日本大震災以降「業績が悪くなった」と回答しており、このことに関連して経営上の課題としては、「受注先・顧客の拡大」、「人材確保」、「資金調達」などが挙げられていると考えられる。行政としてもこれらの課題を解決するため、専門家によるアドバイスなどが必要である。

- ◆操業する上での課題については、設備関連の「設備や建物の老朽化」、「現在の用地が手狭になっている」の回答が合わせて 37%、事業所の所在地に関する「住宅地や商業地と隣接している」及び「道路などの交通のアクセス」の回答が合わせて 21%であった。「特に操業する上での課題はない」と回答した事業所も 44%と多かった。

- ◆回答の多かった「設備や建物の老朽化」に応じて積極的に設備投資を行うことは、健全な操業につながり、事業所の収益力が強化される。今後、積極的な設備投資の実施により設備の若返り、収益力の強化、稼いだ収益を基に再投資といった、望ましい循環を実現し、企業の価値を高めていくことが期待できる。行政側としても、設備投資を望む事業所に対しては、「資金調達」などに関連した支援策を講じることが重要と考えられる。

他社に比べて強みとなる製品や技術、設備 (自由回答) 【問 4】(P15)	○「技術力(技術開発、加工技術、免許・資格の取得、人材に関する技術 など)」が 36 件 ○「独自性(他社にはない実績、付加価値による差別化、顧客の要望に応じて手作り製造 など)」が 16 件 ○「一貫性(企画・設計・製造まで、完成品までの一貫生産、経験を生かした総合設備対応 など)」が 9 件 ○「価格(自社制作のため良い品を安価で提供、他社と競合しない製品を手掛けており価格ダンピングはない など)」が 5 件 ○「地元の強み(長年操業のため実績と顧客確保 など)」が 3 件 ○その他が 13 件
経営上における課題 (複数回答) 【問 5】(P16)	○「受注先・顧客の拡大」が 54% ○「人材育成」が 32% ○「資金調達」が 21% ○「人材後継者確保」が 19% ○「生産性の向上」が 15% ○「技術・製品の開発」が 13% ○「仕入先・原料の確保」が 10% ○「情報の収集・発信」が 9% ○「法的規制」が 9% ○「特になし」が 11%
操業する上での課題 (複数回答) 【問 6】(P17)	○「設備や建物の老朽化」が 26% ○「住宅地や商業地と隣接している」が 15% ○「現在の用地が手狭になっている」が 11% ○「道路などの交通のアクセス」が 6% ○「特になし」が 44%

（２）融資制度の利用、鎌倉彫に関連する事業等の検討に関して【問 7～問 9】（P17～P19）

① 鎌倉市の市内中小企業者を対象とした融資制度の利用状況

鎌倉市では、市内の中小企業者の発展を支援するため、市内の金融銀行（スルガ銀行、湘南信用金庫、東日本銀行、横浜銀行）と協調して、「鎌倉市中小企業融資制度」を実施している。この融資制度を知っていると回答した事業所は全体（188 事業所）の 74%（140 事業所）であったが、実際に「利用している又は利用したことがある」事業所は 30%程度（54 事業所）であった。

「知っているが利用していない」と回答した人は全体の 46%（86 事業所）であり、その利用しない理由としては、「利用する必要がある」との回答が 43%（37 事業所）であり、融資を受ける必要性が無いとの回答が多かった。その外の理由としては、「取扱金融機関以外と取引をしている」が 30%（26 事業所）、「限度額が低い」が 11%（9 事業所）、「利率が高い」が 8%（7 事業所）といった取扱金融機関、融資条件を理由にあげている。

② 鎌倉彫に関連する製品や事業の検討について

鎌倉市の伝統産業である鎌倉彫に関連する製品や事業の検討については、「検討している」が「情報通信業」で 1 事業者、「すでに実施している」が製造業で 1 事業所の回答があった。「すでに実施している」と回答した事業所では、具体的には「鎌倉彫を入れる化粧箱を製造販売している」という回答であった。

（３）ホームページによる情報発信、情報収集に関して【問 10～問 12】（P20～P22）

求人情報、製品情報、ビジネスパートナーの募集などの発信や鎌倉市からの行政情報を閲覧することができるホームページの登録を希望する事業所は、60%近くが希望している。また、発信情報内容については、「受注の希望」、収集情報内容については、「発注を希望する事業者の情報」が最も多く、ともに事業所自体の受注増に結びつく情報を希望していることがうかがえる。

以上のことから、鎌倉市からの行政情報（求人情報、製品情報、ビジネスパートナーの募集などの発信情報を含む）を閲覧することができるホームページの制作要望は高く、対応が望まれる。

◆求人情報、製品情報、ビジネスパートナーの募集などの発信や鎌倉市からの行政情報を閲覧することができるホームページの登録希望については、59%の事業所が「希望する」との要望があった。

◆ホームページがあった場合に希望する情報発信の内容については、「受注の希望」及び「製品の情報」といった受注のための情報発信を希望する事業者が多く、合わせて 63%と高い割合を示している。

また、「求人情報」を希望する事業所は 20%の回答割合であった。

◆ホームページがあった場合に希望する収集情報については、事業所の受注につながる「発注を希望する事業者の情報」を 30%近い事業所が回答した。

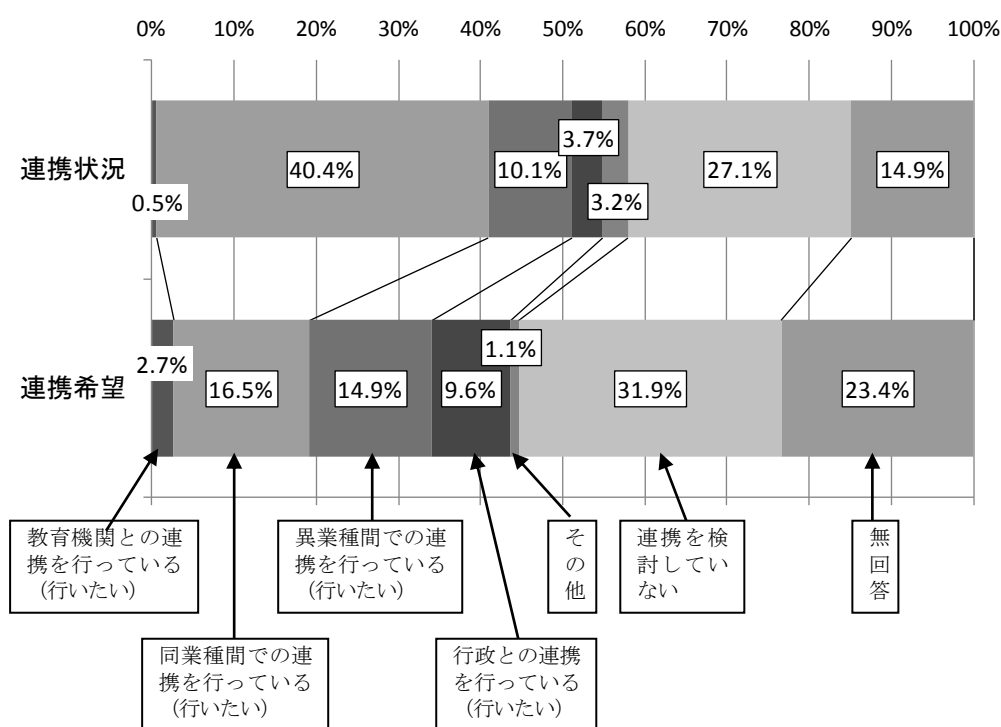
(4) 他分野や他団体との連携に関して【問 13、問 14】(P23、P24)

中小企業においては、地元でできることは地元で行うといった、事業の効率性を高めるために、同業種、異業種間の企業間連携が有効とされる場合が多くある。また、近年、「知」の創造と活用を図ることに大きな価値が置かれる「知識社会」の到来により、産学官連携への動きが高まりつつある。

◆**鎌倉市における他分野や他団体との連携の状況**についてみると、「同業種間での連携を行っている」が 40%と最も多く、次いで「異業種間での連携を行っている」が 10%であった。

◆**他分野や他団体との連携の希望**については、「同業種間での連携を行いたい」が 17%と最も多く、次いで「異業種間での連携を行いたい」が 15%となっている。また、連携の状況と希望を比較すると、「行政との連携を行いたい」が 10%と現在の連携状況の 4%より増加し、同様に「教育機関との連携を行いたい」が 3%と現在の連携状況の 1%と比較して増加傾向を示している。

◆以上についてまとめると、現状においては、同業種、異業種間の企業間連携を行っている事業所が半数以上を示し、事業の効率化、相互協力が図られていると考えられる。また、他分野や他団体との連携の希望では、「行政との連携を行いたい」、「教育機関との連携を行いたい」を希望する事業所が増加しており、産学官連携への動きが高まる傾向が見られ、今後これらを支援する政策を検討することが重要と考えられる。



(5) 鎌倉市環境共生事業等補助制度（製造業、情報通信業者を対象）に関して

【問 16～問 19】（P26～P29）

① 鎌倉市環境共生事業等補助制度の利用状況

- ◆環境保全施設等の整備（ハード事業）及び人材育成等の経営革新事業（ソフト事業）に要する経費の一部を助成する鎌倉市環境共生事業等補助制度の認知度については、「知らない」と回答した人が73%と多い結果であった。
- ◆「知っているが利用したことはない」事業所は7事業所で全体の13%であったが、利用しなかった理由については、補助を受ける必要性がないという理由が大半を占めている。

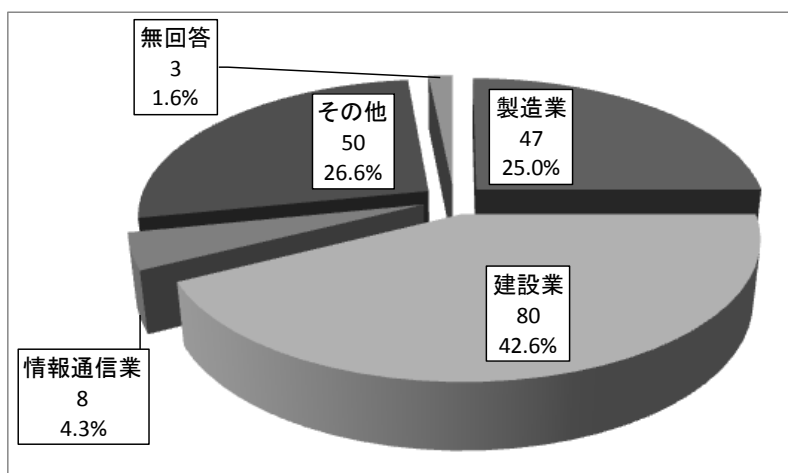
② 設置を予定している環境保全施設及び経営革新事業の有無について

- ◆設置を予定している環境保全施設（ハード事業）の有無については、「製造業」で「太陽光発電設備」5事業所で9%、「防音設備」、「雨水を貯留して利用する設備」、「その他の環境に配慮した設備」がともに3事業所で6%の回答率であった。
- ◆実施を予定している経営革新事業（ソフト事業）の有無については、製品、技術等を紹介する見本市、展示会又は博覧会に出展する事業」が7事業所で13%と最も多かった。
- ◆以上の回答結果をみると、「鎌倉市環境共生事業等補助制度」があることを「知らない」と回答した事業所も多く、また補助を受けて環境保全施設及び経営革新事業を予定している事業所も少なく、鎌倉市で実施されている補助制度が十分活用されていない状況である。これらの補助制度を幅広く有効に活用されるためには、当補助制度の周知徹底を図ることが重要と考えられる。

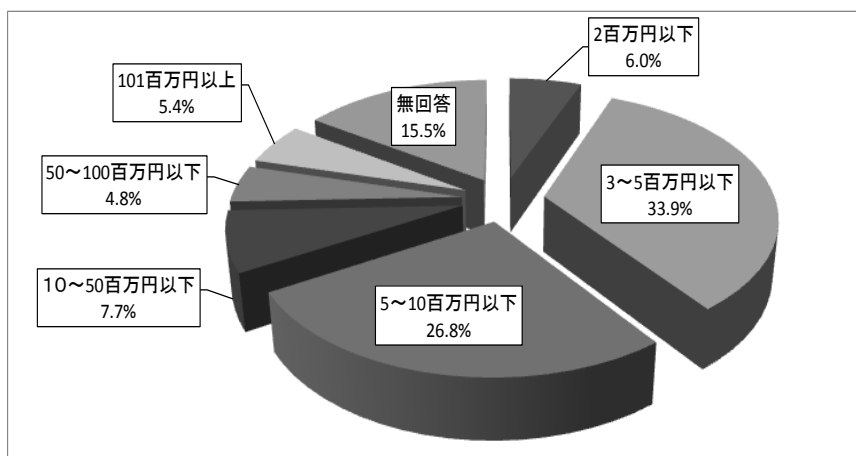
3-2 個別設問の集計結果

(1) 回答者の属性について

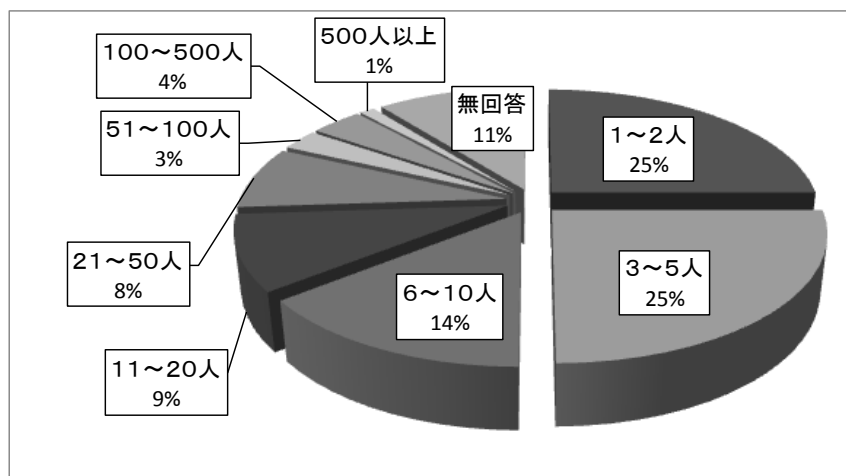
- ① 回答事業所の業種は、「製造業」が47事業所で全体の25%、「建設業」が80事業所で42%、「情報通信業」が8事業所で4%、「その他」が50事業所で27%であった。「その他」の50事業所は、「不動産業」が22事業所と多く、「電気工事業」が6事業、「建築設計等のサービス業」、「コンピュータ(ソフト、保守)業」、「内装・表具業」がともに4事業所などであった。



- ② 回答事業所の資本金は、「3～5百万円以下」が57事業所と最も多く、次いで「5～10百万円以下」が45事業所であった。資本金10百万円以下の事業所は全体の68%を占めている。なお、「無回答」の事業所も26事業所ほどあった。



- ③ 回答事業所の従業者数は、「1～2 人」及び「2～5 人」がともに 47 事業所であり、5 人以下の従業者数の事業者が 50%を占めている。



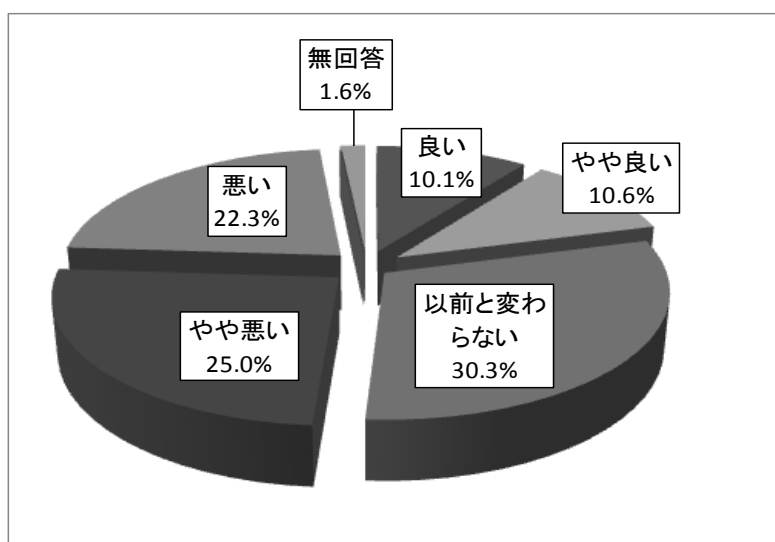
(2) 業績及び経営上・操業する上での課題に関して（問1～問6）

① 東日本大震災以前の業績について

東日本大震災以前（平成22年4月～平成23年2月）の業績については、「以前と変わらない」が30%と最も多く、次いで「やや悪い」が25%、「悪い」が22%であり双方で約半数近くが「悪い」と回答している。

また、「やや良い」が11%、「良い」が10%であった。業種別では、「良い」と回答した割合が最も高かったのは製造業で17%、逆に「悪い」と回答した割合が最も高かったのは建設業で31%であった。

問1. 東日本大震災以前（平成22年4月～平成23年2月）の業績はいかがでしたか。（1つだけに○）

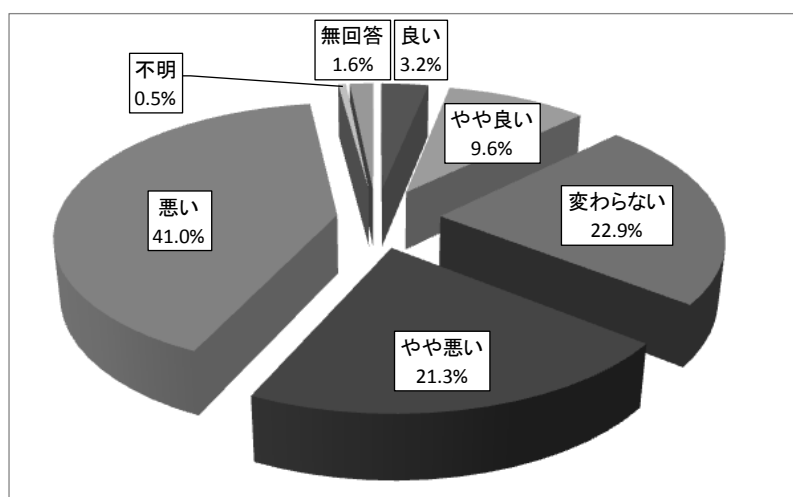


	N	良い	やや良い	以前と変わらない	やや悪い	悪い	不明	無回答
全体	188	10.1%	10.6%	30.3%	25.0%	22.3%	0.0%	1.6%
製造業	47	17.0%	10.6%	27.7%	27.7%	17.0%	0.0%	0.0%
建設業	80	8.8%	12.5%	22.5%	25.0%	31.3%	0.0%	0.0%
情報通信業	8	12.5%	0.0%	25.0%	37.5%	25.0%	0.0%	0.0%
その他	50	6.0%	10.0%	46.0%	22.0%	14.0%	0.0%	2.0%

② 東日本大震災以降 4 ヶ月間の業績について

東日本大震災以降 4 ヶ月間（平成 23 年 3 月～平成 23 年 6 月）の業績については、「悪い」が 41%で震災前 22%と最も多く、次いで「変わらない」が 23%で震災前 23%、「やや悪い」が 21%で震災前 25%であった。また、「やや良い」が 10%震災前 11%、「良い」という回答は 3%で震災前 10%とともに少なく、全体的にみて東日本大震災以降の業績は、震災前と比較してさらに悪くなったと回答した企業が多かった。業種別では、震災前に「良い」と回答した割合が 17%と最も高かった製造業が震災後は、2%と 15 ポイントも少なくなった。

問 2. 東日本大震災以降 4 ヶ月間（平成 23 年 3 月～平成 23 年 6 月）の業績はいかがですか。（1 つだけに○）

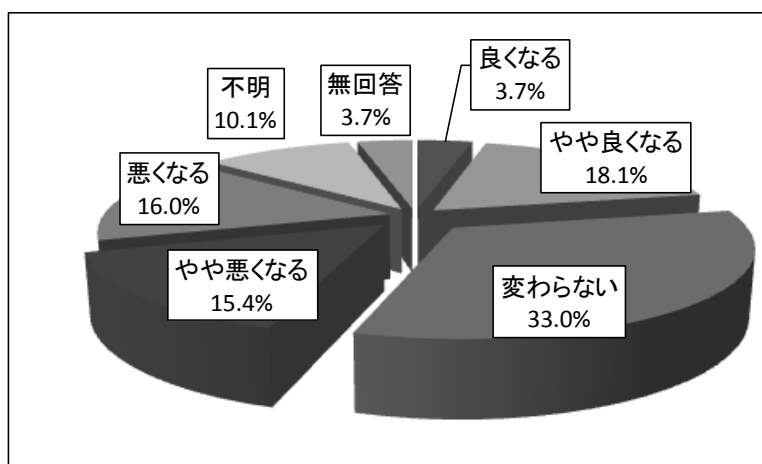


	N	良い	やや良い	変わらない	やや悪い	悪い	不明	無回答
全体	188	3.2%	9.6%	22.9%	21.3%	41.0%	0.5%	1.6%
製造業	47	2.1%	14.9%	17.0%	14.9%	51.1%	0.0%	0.0%
建設業	80	2.5%	8.8%	26.3%	22.5%	38.8%	1.3%	0.0%
情報通信業	8	12.5%	0.0%	0.0%	12.5%	75.0%	0.0%	0.0%
その他	50	2.0%	8.0%	28.0%	28.0%	32.0%	0.0%	2.0%

③ 今後の業績の推移について

今後の業績は、どのように推移するかについては、「変わらない」が 33%と最も多く、次いで「やや良くなる」が 18%と少し期待感も現れている。しかし、「悪くなる」、「やや悪くなる」と回答した人も合わせて 31%おり、今後も厳しい業績を予測している事業所も多いことがうかがえる。「良くなる」という回答は全体の 4%であった。業種別では、製造業の「やや良くなる」が 28%と回答率が比較的高かった。

問 3. 今後の業績は、どのように推移しそうですか。(1 つだけに○)



	N	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる	不明	無回答
全体	188	3.7%	18.1%	33.0%	15.4%	16.0%	10.1%	3.7%
製造業	47	4.3%	27.7%	25.5%	12.8%	17.0%	8.5%	4.3%
建設業	80	3.8%	16.3%	32.5%	20.0%	16.3%	8.8%	2.5%
情報通信	8	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	37.5%	12.5%	0.0%
その他	50	2.0%	16.0%	42.0%	12.0%	12.0%	14.0%	2.0%

④ 他社に比べて強みとなる製品や技術、設備などについて

他社に比べて強みとなる製品や技術、設備などについては、「技術力(技術開発、加工技術、免許・資格の取得、人材に関する技術 など)」が 36 件、「独自性(他社にはない実績、付加価値による差別化、顧客の要望に応じて手作り製造など)」が 16 件、「一貫性(企画・設計・製造まで、完成品までの一貫生産、経験を生かした総合設備対応 など)」が 9 件など多く挙げられた。

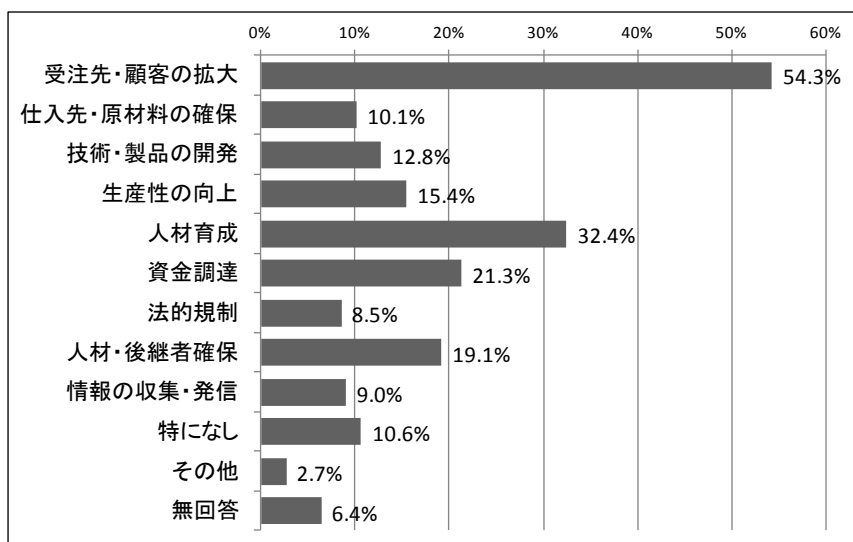
問 4. 他社に比べて強みとなる製品や技術、設備などを具体的に記入してください。

1. 技術力(技術開発、加工技術、免許・資格の取得、人材に関する技術 など)	36件
2. 独自性(他社にはない実績、付加価値による差別化、顧客の要望に応じて手作り製造 など)	16件
3. 一貫性(企画・設計・製造まで、完成品までの一貫生産、経験を生かした総合設備対応 など)	9件
4. 価格(自社制作のため良い品を安価で提供、他社と競合しない製品を手掛けており価格ダンピングはないなど)	5件
5. 地元の強み(長年操業のため実績と顧客確保 など)	3件
6. 品質(先端の機械による精度の高い品物の製造、品質管理の徹底)	2件
7. 信頼性(信頼性の口コミによる)	1件
8. スピード(他社と比べて敏速な対応と的確な作業をすることに心掛けている)	1件
9. その他	9件

⑤ 経営上における課題について

経営上における課題については、「受注先・顧客の拡大」が54%と最も多く、次いで「人材育成」が32%、それ以降は「資金調達」、「人材後継者確保」、「生産性の向上」、「技術・製品の開発」、「仕入先・原料の確保」、「情報の収集・発信」と続いている。業種別では、「受注先・顧客の拡大」について「情報通信業」、「建設業」がそれぞれ87%、61%と他の業種より多かった。

問 5. 経営上で課題となっていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

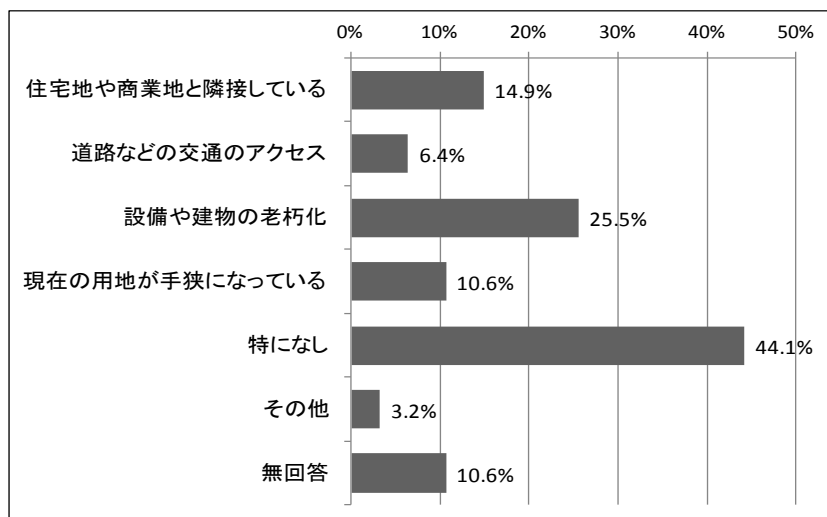


	N	客受 の注 大・ 顧	材仕 料入 の先 確・ 保原	の技 術開 発・ 製 品	上生 産性 の向	人材 育成	資金 調達	法的 規制	者人 材確 保・ 後 継	集情 ・報 の信 収	特に なし	その他	無 回 答
全体	188	54.3%	10.1%	12.8%	15.4%	32.4%	21.3%	8.5%	19.1%	9.0%	10.6%	2.7%	6.4%
製造業	47	53.2%	14.9%	36.2%	29.8%	31.9%	14.9%	10.6%	12.8%	12.8%	12.8%	6.4%	2.1%
建設業	80	61.3%	8.8%	2.5%	12.5%	38.8%	27.5%	10.0%	23.8%	5.0%	6.3%	1.3%	2.5%
情報通信業	8	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
その他	50	42.0%	10.0%	8.0%	6.0%	26.0%	20.0%	6.0%	18.0%	10.0%	18.0%	2.0%	14.0%

⑥ 操業する上での課題について

操業する上での課題については、「設備や建物の老朽化」が26%、「住宅地や商業地と隣接している」が15%、「現在の用地が手狭になっている」が11%であった。また、「特になし」と回答した人が44%と多かった。業種別では、「製造業」については、「設備や建物の老朽化」、「住宅地や商業地と隣接している」がそれぞれ49%、43%と回答率が多く、その他の業種では、「特になし」が多い結果となった。

問 6. 操業する上で課題となっていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)



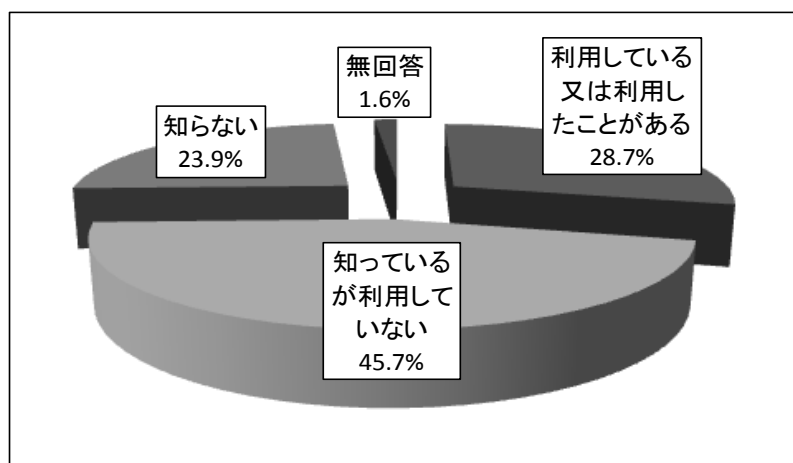
	N	住宅地や商業地と隣接している	道路などの交通のアクセス	設備や建物の老朽化	現在の用地が手狭になっている	特になし	その他	無回答
全体	188	14.9%	6.4%	25.5%	10.6%	44.1%	3.2%	10.6%
製造業	47	42.6%	6.4%	48.9%	25.5%	25.5%	0.0%	2.1%
建設業	80	6.3%	6.3%	17.5%	5.0%	53.8%	5.0%	11.3%
情報通信業	8	0.0%	0.0%	12.5%	12.5%	37.5%	25.0%	12.5%
その他	50	6.0%	8.0%	20.0%	6.0%	48.0%	0.0%	14.0%

(3) 融資制度の利用、鎌倉彫に関連する事業等の検討に関して（問7～問9）

① 鎌倉市の市内中小企業者を対象とした融資制度の認知度について

鎌倉市の市内中小企業者を対象とした融資制度の認知度については、「知っている」との回答割合は全体の74%であり、「知らない」の24%を上回っている。「知っている」との回答の内訳として「利用していない」と回答した人の割合は46%であり、「利用している又は利用したことがある」という回答は全体の29%であった。業種別では、建設業の「利用している又は利用したことがある」が40%と回答率が高かった。

問7. 鎌倉市には、市内中小企業者を対象とした融資制度があるのを知っていますか。（1つだけに○）



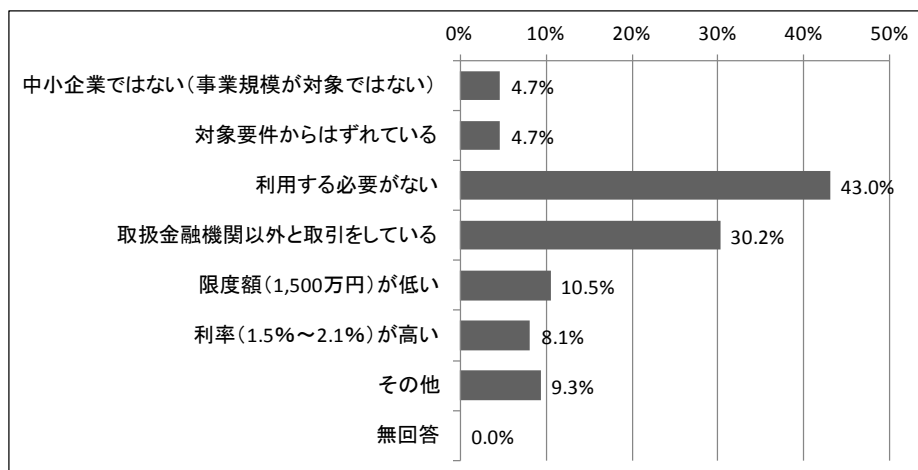
	N	こ又利 とは用 が利し あ用て るしい たる	い利知 用つ して てい るな が	知 ら ない	無 回 答
全体	188	28.7%	45.7%	23.9%	1.6%
製造業	47	27.7%	46.8%	25.5%	0.0%
建設業	80	40.0%	42.5%	17.5%	0.0%
情報通信業	8	12.5%	37.5%	50.0%	0.0%
その他	50	16.0%	54.0%	28.0%	2.0%

② 市内中小企業者を対象とした融資制度を利用しない理由について

鎌倉市の市内中小企業者を対象とした融資制度を利用しない理由については、「利用する必要がない」が43%と最も多く、次いで「取扱金融機関（スルガ銀行、湘南信用金庫、東日本銀行、横浜銀行）以外の金融機関を利用している」が30%と多かった。また、「限度額（1,500万円）が低い」、「利率（1.5%～2.1%）が高い」がそれぞれ11%、8%であった。業種別に見ると、製造業の「限度額（1,500万円）が低い」が23%と他業種の事業所より回答率が高いことがうかがえる。

【※問7で「鎌倉市の融資制度を知っているが利用しない」とお答えの方にお聞きします】

問8. 本市の融資制度を利用しなかったのはなぜですか。（あてはまるもの全てに○）

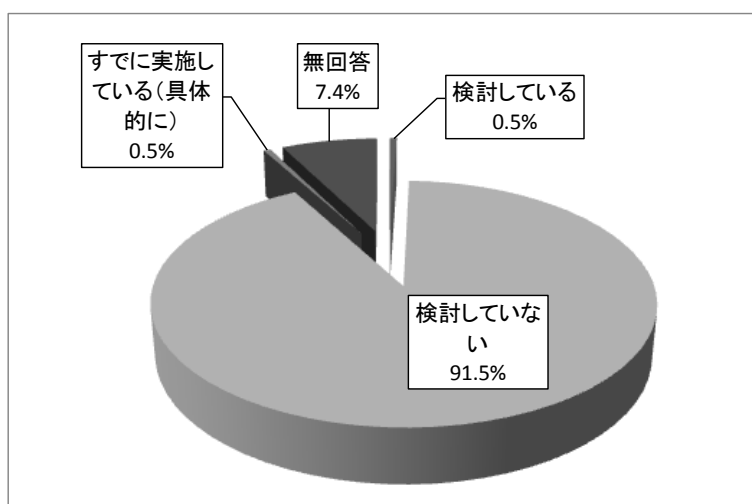


	N	は（中 ない事 業企 模業 で規 が模 対で 象は い対 で象 い	て対 い象 る要 件件 から はず れ	利用 する 必要 がな い	して 取 扱 金 融 機 関 以 外 と 取 引 を	万 限 円度 額 が（ 低1 い、 5 0 0	2利 ・率 1（ %1 ） が 5 高 % い	そ の 他	無 回 答
全体	86	4.7%	4.7%	43.0%	30.2%	10.5%	8.1%	9.3%	0.0%
製造業	22	9.1%	4.5%	40.9%	27.3%	22.7%	9.1%	4.5%	0.0%
建設業	34	5.9%	5.9%	44.1%	29.4%	5.9%	5.9%	14.7%	0.0%
情報通信業	3	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
その他	27	0.0%	3.7%	44.4%	37.0%	7.4%	11.1%	0.0%	0.0%

③ 鎌倉市の伝統産業である鎌倉彫に関連する製品や事業の検討について

鎌倉市の伝統産業である鎌倉彫に関連する製品や事業の検討については、「検討していない」との回答が 92%と高い割合を示す結果となっている。「検討している」及び「すでに実施している」という回答は双方合わせて全体の 1%であった。

問 9. 本市の伝統産業である鎌倉彫に関連する製品や事業を検討していますか。(1
つだけに○)



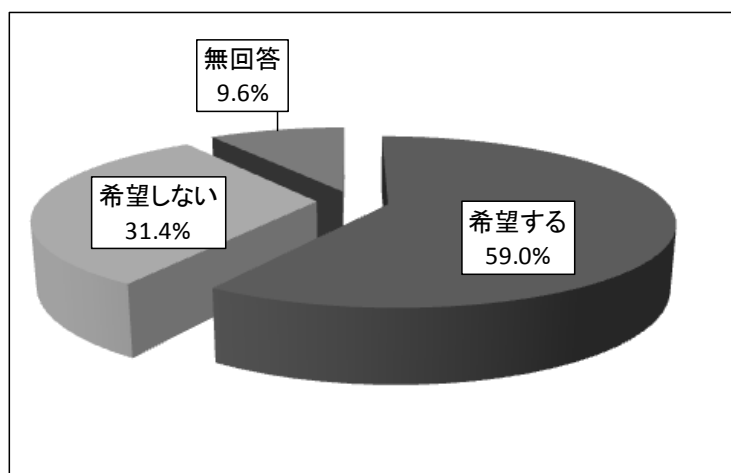
	N	検討している	検討していない	すでに実施している(具体的に)	無回答
全体	188	0.5%	91.5%	0.5%	7.4%
製造業	47	0.0%	91.5%	2.1%	6.4%
建設業	80	0.0%	93.8%	0.0%	6.3%
情報通信業	8	12.5%	87.5%	0.0%	0.0%
その他	50	0.0%	92.0%	0.0%	8.0%

(4) ホームページによる情報発信、情報収集に関して(問 10～問 12)

① 求人情報、製品情報、ビジネスパートナーの募集などの発信や鎌倉市からの行政情報を閲覧することができるホームページの登録希望について

求人情報、製品情報、ビジネスパートナーの募集などの発信や鎌倉市からの行政情報を閲覧することができるホームページの登録希望については、「希望する」が 59%と多く、「希望しない」は 31%であった。

問 10. 市内の事業者が無料で登録し、求人情報、製品情報、ビジネスパートナーの募集などの発信や本市からの行政情報を閲覧することができるホームページがあったら、登録を希望しますか。(1 つだけに○)



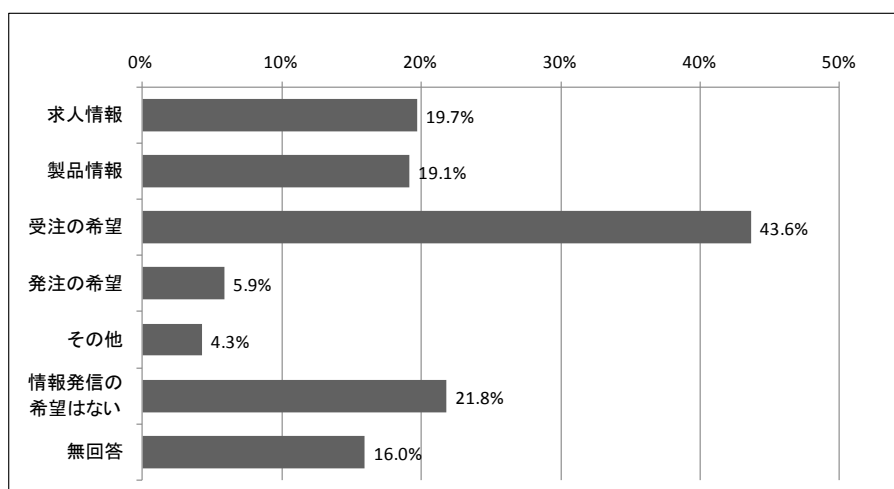
	N	希望する	希望しない	無回答
全体	188	59.0%	31.4%	9.6%
製造業	47	59.6%	36.2%	4.3%
建設業	80	60.0%	28.8%	11.3%
情報通信業	8	75.0%	25.0%	0.0%
その他	50	56.0%	34.0%	10.0%

② ホームページがあった場合に希望する発信情報について

問 10 のようなホームページがあった場合に希望する発信情報については、「受注の希望」44%が最も多く、次いで「求人情報」が20%、「製品の情報」が19%であった。

また、「情報発信の希望はない」と回答した事業所も22%を占め、「無回答」の16%と合わせると38%の事業所は発信情報を希望していない結果となっている。

問 11. 問 10 のようなホームページがあった場合、どのような情報を発信したいですか。(あてはまるもの全てに○)



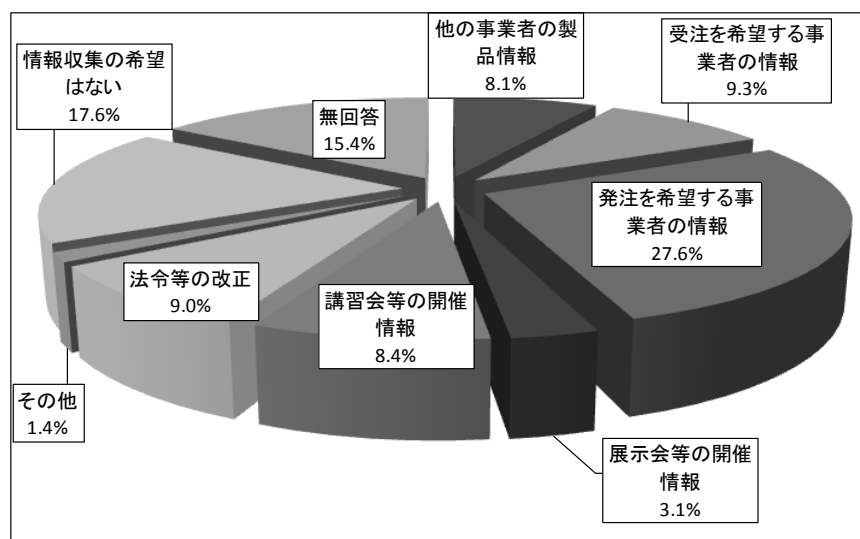
	N	求人情報	製品情報	受注の希望	発注の希望	その他	情報発信の希望はない	無回答
全体	188	19.7%	19.1%	43.6%	5.9%	4.3%	21.8%	16.0%
製造業	47	21.3%	31.9%	42.6%	8.5%	2.1%	25.5%	10.6%
建設業	80	18.8%	13.8%	50.0%	6.3%	2.5%	21.3%	13.8%
情報通信業	8	25.0%	37.5%	62.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
その他	50	20.0%	14.0%	34.0%	4.0%	10.0%	20.0%	22.0%

③ ホームページがあった場合に希望する収集情報について

問 10 のようなホームページがあった場合に希望する収集情報については、「発注を希望する事業者の情報」が 28%と最も多く、次いで「受注を希望する事業者の情報」、「法令の改正」が共に 9%、「講習会等の開催情報」、他の事業者の製品情報」が共に 8%であった。

また、「情報収集の希望はない」と回答した事業所は 18%であった。

問 12. 問 10 のようなホームページがあった場合、どのような情報を収集したいですか。(1 つだけに○)



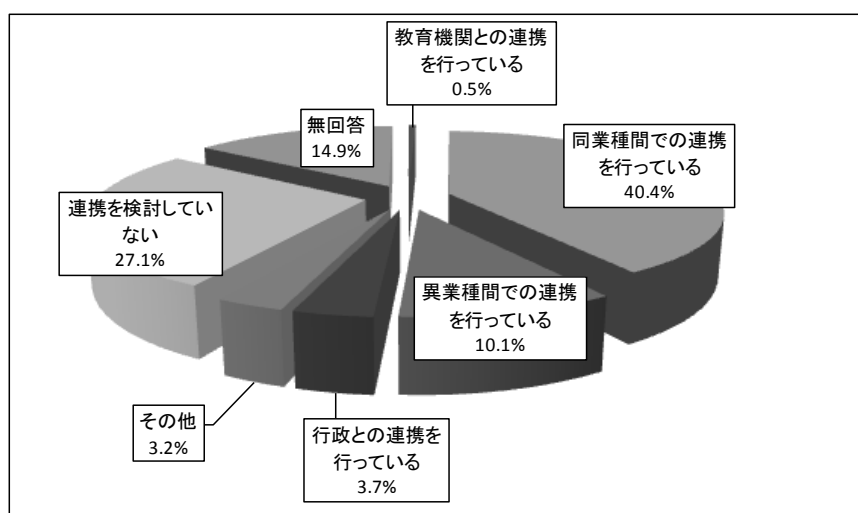
	N	他の事業者の製品情報	受注を希望する事業者の情報	発注を希望する事業者の情報	展示会等の開催情報	講習会等の開催情報	法令等の改正	その他	情報収集の希望はない	無回答
全体	188	8.1%	9.3%	27.6%	3.1%	8.4%	9.0%	1.4%	17.6%	15.4%
製造業	47	17.0%	8.5%	29.8%	6.4%	2.1%	6.4%	4.3%	21.3%	4.3%
建設業	80	6.3%	12.5%	26.3%	2.5%	8.8%	10.0%	1.3%	16.3%	16.3%
情報通信業	8	0.0%	0.0%	50.0%	12.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
その他	50	4.0%	6.0%	26.0%	2.0%	10.0%	12.0%	0.0%	16.0%	24.0%

(5) 他分野や他団体との連携に関して(問 13～問 15)

① 他分野や他団体との連携を行っているかについて

他分野や他団体との連携を行っているかについては、「同業種間での連携を行っている」が40%と最も多く、次いで「異業種間での連携を行っている」が10%であった。また、「連携を検討していない」事業所も27%を占めている。業種別に見ると、「同業種間での連携を行っている」について「建設業」は49%であり、「製造業」及び「情報通信業」の32%、38%と比較して、割合が高いことがうかがえる。

問 13. 他分野や他団体との連携を行っていますか。(1 つだけに○)

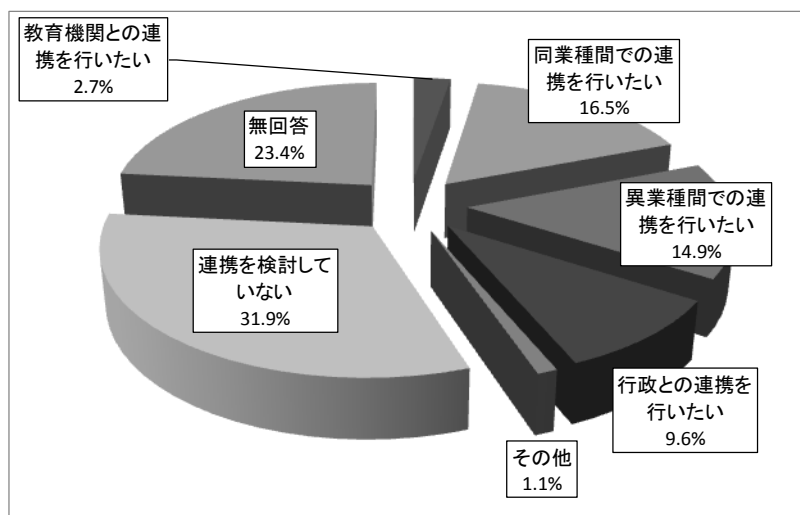


	N	行政との連携を行っている	異業種間での連携を行っている	同業種間での連携を行っている	教育機関との連携を行っている	その他	連携を検討していない	無回答
全体	188	3.7%	10.1%	40.4%	0.5%	3.2%	27.1%	14.9%
製造業	47	4.3%	6.4%	31.9%	2.1%	6.4%	40.4%	8.5%
建設業	80	2.5%	8.8%	48.8%	0.0%	1.3%	22.5%	16.3%
情報通信業	8	0.0%	25.0%	37.5%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%
その他	50	6.0%	14.0%	36.0%	0.0%	2.0%	24.0%	18.0%

② 他分野や他団体との連携の希望について

他分野や他団体との連携の希望については、「同業種間での連携を行いたい」が17%と最も多く、次いで「異業種間での連携を行いたい」が15%、「行政との連携を行いたい」が10%であった。また、「連携を検討していない」が32%と、連携を希望しない事業所も多く見られる。業種別に見ると、「同業種間での連携を行いたい」について「製造業」及び「情報通信業」は23%以上と「建設業」の16%と比較して希望する事業所の割合が高いことがうかがえる。

問 14. 他分野や他団体との連携を行いたいですか。(1 つだけに○)



	N	を教育機関との連携	を同業種間での連携	を異業種間での連携	行政との連携を行	その他	連携を検討して	無回答
全体	188	2.7%	16.5%	14.9%	9.6%	1.1%	31.9%	23.4%
製造業	47	2.1%	23.4%	6.4%	8.5%	0.0%	42.6%	17.0%
建設業	80	3.8%	16.3%	20.0%	11.3%	1.3%	25.0%	22.5%
情報通信業	8	12.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	37.5%	12.5%
その他	50	0.0%	10.0%	16.0%	10.0%	2.0%	34.0%	28.0%

③ 鎌倉市に対する意見について

鎌倉市に対する意見については、全体で 26 件あり、「入札制度の見直し、最低価格の設定」が 5 件、「鎌倉らしい街づくり」、「場所・土地利用の問題」、「地元企業への発注」が共に 3 件の意見があった。

問 15. 本市に対する意見があればご記入ください

「鎌倉市に対する意見」：26 件の回答

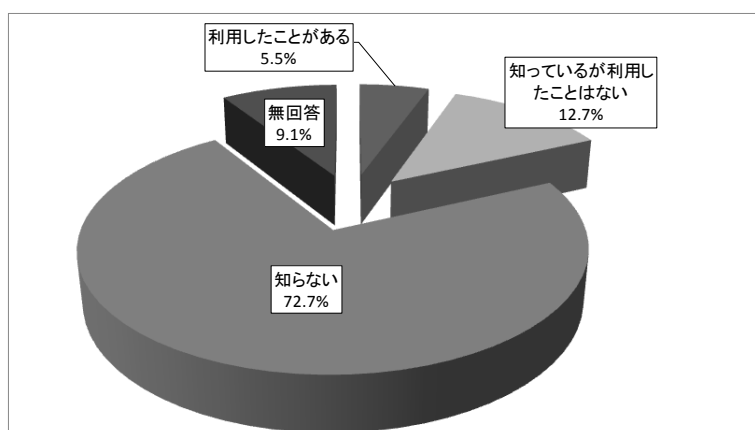
入札制度の見直し、最低価格の設定	5 件
鎌倉らしい街づくり	3 件
場所・土地利用の問題	3 件
地元企業への発注	3 件
地元育成	2 件
ごみ処理について	2 件
税金・借入等の不満	2 件
その他	6 件

(6) 製造業、情報通信業者の設問に関して(問 16～問 20)

① 鎌倉市環境共生事業等補助制度の認知度について

環境保全施設等の整備（ハード事業）及び人材育成等の経営革新事業（ソフト事業）に要する経費の一部を助成する鎌倉市環境共生事業等補助制度の認知度については、「知らない」との回答が 73%と「知っている」との回答 18%よりかなり多い結果であった。また、「知っているが利用したことはない」事業所は 13%、「利用したことがある」という回答は全体の 6%と少ない割合であった。

問 16. 市内の製造業者及び情報通信業者が住宅地と混在している地域でも事業を継続しやすいように、環境保全施設等の整備（ハード事業）及び人材育成等の経営革新事業（ソフト事業）に要する経費の一部を助成する鎌倉市環境共生事業等補助制度を知っていますか。(1 つだけに○)



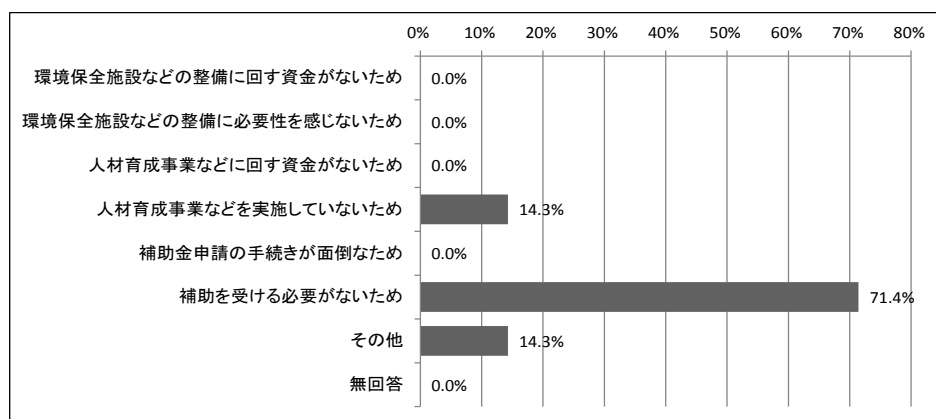
	N	が利用した こと	は利用した ことが	知らない	無回答
全体	55	5.5%	12.7%	72.7%	9.1%
製造業	47	6.4%	10.6%	72.3%	10.6%
情報通信業	8	0.0%	25.0%	75.0%	0.0%

② 鎌倉市環境共生事業等補助制度を利用しなかった理由について

鎌倉市環境共生事業等補助制度を利用しなかった理由については、「補助を受ける必要がないため」が 71%を占めている。「人材育成事業などを実施していないため」という回答は全体の 14%であった。

【※問 16 で「鎌倉市環境共生事業等補助制度を知っているが利用したことはない」とお答えの方にお聞きします】

問 17. 鎌倉市環境共生事業等補助制度を利用しなかったのはなぜですか。(あてはまるもの全てに○)

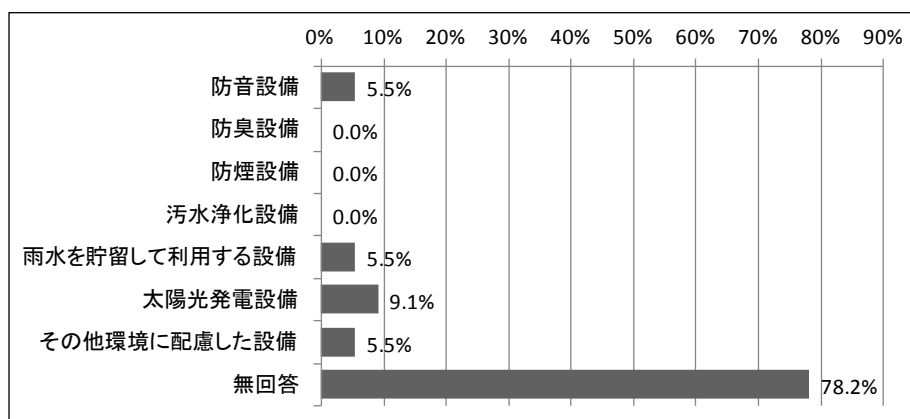


	N	がの環 ない備 いに全 め回施 す設 資な 金ど	感の環 じ整備 ないに全 た必施 め要設 性な をど	たに人 め回材 す育 資成 金事 が業 ないど	実人 施材 して育 いな成 ない業 たな めを	き補 助金 面申 倒請 なた め手 続	が補 助を た受 ける 必要	そ の 他	無 回 答
全体	7	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%	71.4%	14.3%	0.0%
製造業	5	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	60.0%	20.0%	0.0%
情報通信業	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%

③ 設置を予定している環境保全施設（ハード事業）の有無について

設置を予定している環境保全施設（ハード事業）の有無については、「製造業」で「太陽光発電設備」5事業所で9%、「防音設備」、「雨水を貯留して利用する設備」、「その他の環境に配慮した設備」がともに3事業所で6%の回答率であった。また、無回答が「情報通信業」の8事業所を含め43事業所で78%と多かった。

問 18. 貴社で設置を予定している環境保全施設（ハード事業）はありますか。（あてはまるもの全てに○）



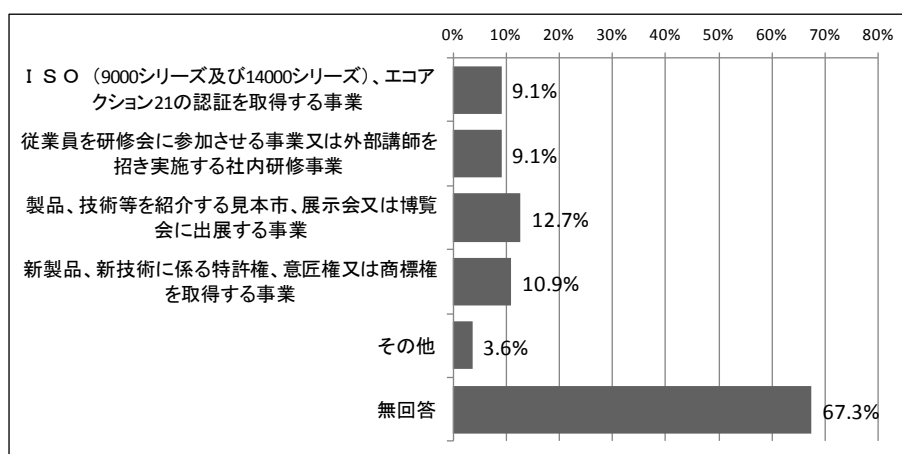
	N	防音設備	防臭設備	防煙設備	汚水浄化設備	雨水を貯留して利用する設備	太陽光発電設備	その他環境に配慮した設備	無回答
全体	55	5.5%	0.0%	0.0%	0.0%	5.5%	9.1%	5.5%	78.2%
製造業	47	6.4%	0.0%	0.0%	0.0%	6.4%	10.6%	6.4%	74.5%
情報通信業	8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%

④ 実施を予定している経営革新事業（ソフト事業）の有無について

実施を予定している経営革新事業（ソフト事業）の有無については、製品、技術等を紹介する見本市、展示会又は博覧会に出展する事業」が13%と最も多く、次いで「新製品、技術に係る特許権、意匠権又は商標権を取得する事業」が11%、「ISO（9000シリーズ及び14000シリーズ）、エコアクション21の認証を取得する事業」及び「従業員を研修会に参加させる事業又は外部講師を招き実施する社内研修事業」がともに9%の回答率であった。

また、「無回答」が67%と多かった。

問 19. 貴社で実施を予定している経営革新事業（ソフト事業）がありますか。（あてはまるもの全てに○）



	N	得コびI すア1S るク4O 事シ0（ 業ヨ09 ン00 2シ0 1リ0 のーシ 認ズリ 証ー） を、ズ 取エ及	す事従 る業業 社又員 内はを 研修部 事講会 業師に を参 招加 きさ せ 実 施 る	す市製 る、品 事展、 業示技 業会術 又等 はを 博紹 覧介 会す に 出見 展本	す権新 る、製 事意品 業匠、 権新 又は は商 標術 権に を取 得係 る特 許	そ 他	無 回 答
全体	55	9.1%	9.1%	12.7%	10.9%	3.6%	67.3%
製造業	47	10.6%	10.6%	14.9%	12.8%	2.1%	63.8%
情報通信	8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	87.5%

⑤ 実施を予定している経営革新事業（ソフト事業）の有無について

問 18、問 19 で回答したもの以外に補助を希望する事業については、「海外への事業転換」の 1 件の回答であった。

問 20. 問 18【設置を予定している環境保全施設（ハード事業）】及び問 19【実施を予定している経営革新事業（ソフト事業）】で回答したもの以外に補助を希望する事業がありますか。

「補助を希望する事業」：1 件の回答

海外への事業転換	1 件
----------	-----

【 資 料 編 】

「製造業、建設業及び情報通信業実態調査」アンケート調査票

「製造業、建設業及び情報通信業実態調査」についてのお願い

日頃より、鎌倉市政にご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

本市では、商工業の振興を図るため、様々な施策を実施しております。

このアンケートは、製造業、建設業及び情報通信業の皆様の経営の実情並びに本市施策への意見についてお尋ねするもので、その結果を、今後の産業振興施策に反映していきたいと考えています。

なお、お答えいただいた内容は、事業所の情報に配慮した上で、統計的な処理を行いますので、事業所を特定する内容が出ることはありません。

つきましては、お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力ください。

調査票は、**平成23年7月27日（水）から平成23年8月5日（金）まで**の間に**調査員が回収**に伺いますので、**あらかじめ、御記入のうえ**、お渡しください。

平成23年7月

鎌倉市長 松尾 崇

【ご記入に当たって】

1. 回答は質問ごとに、あてはまる**項目の番号に○**をつけてください。
「その他」を選んだ場合は、具体的な内容をご記入ください。
2. 各質問文の最後に、「(1つだけに○)、(あてはまるもの全てに○)」などのことわり書きがあります。**質問ごとに○を付けていただく数が異なります**のでご注意ください。

アンケートの発送・回収につきましては、鎌倉市から株式会社アストジェイへ委託して実施しております。

契約においては、個人情報の取扱いに慎重をさし、外部への漏えいがないように十分配慮しています。ご質問などがありましたら、お問い合わせいただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】 鎌倉市市民経済部産業振興課 電話:0467-23-3000（内線2356）

記入日	平成 23 年 月 日	記入者 役職、氏名	役職	氏名
Eメールアドレス	@			
(フリガナ) 会社名/ 事業所名				
代表者氏名		所在地		
電話番号	-	-	FAX 番号	-
業種	製造業 ・ 建設業 ・ 情報通信業 その他 ()		主たる事業	
資本金	万円	従業者数	常勤 非常勤	名 名

問1. 東日本大震災以前(平成 22 年 4 月～平成 23 年 2 月)の業績はいかがでしたか。
(1つだけに○)

- | | | |
|---------|---------|-------------|
| 1. 良い | 2. やや良い | 3. 以前と変わらない |
| 4. やや悪い | 5. 悪い | 6. 不明 |

問2. 東日本大震災以降4ヶ月間(平成 23 年 3 月～平成 23 年 6 月)の業績はいかがですか。(1つだけに○)

- | | | |
|---------|---------|----------|
| 1. 良い | 2. やや良い | 3. 変わらない |
| 4. やや悪い | 5. 悪い | 6. 不明 |

問3. 今後の業績は、どのように推移しそうですか。(1つだけに○)

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 良くなる | 2. やや良くなる | 3. 変わらない |
| 4. やや悪くなる | 5. 悪くなる | 6. 不明 |

問4. 他社に比べて強みとなる製品や技術、設備などを具体的に記入してください。

問5. 経営上で課題となっていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 受注先・顧客の拡大 | 2. 仕入先・原材料の確保 |
| 3. 技術・製品の開発 | 4. 生産性の向上 |
| 5. 人材育成 | 6. 資金調達 |
| 7. 法的規制 | 8. 人材・後継者確保 |
| 9. 情報の収集・発信 | 10. 特になし |
| 11. その他() | |

問6. 操業する上で課題となっていることは何ですか。(あてはまるもの全てに○)

- | |
|-------------------|
| 1. 住宅地や商業地と隣接している |
| 2. 道路などの交通のアクセス |
| 3. 設備や建物の老朽化 |
| 4. 現在の用地が手狭になっている |
| 5. 特になし |
| 6. その他() |

問7. 鎌倉市には、市内中小企業者を対象とした融資制度があるのを知っていますか。

(1つだけに○)

1. 利用している又は利用したことがある
2. 知っているが利用していない
3. 知らない

【※問7で2とお答えの方にお聞きします】

問8. 本市の融資制度を利用しなかったのはなぜですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 中小企業ではない(事業規模が対象ではない)
2. 対象要件からはずれている(理由)
3. 利用する必要がない
4. 取扱金融機関(スルガ銀行、湘南信用金庫、東日本銀行、横浜銀行)以外の金融機関と取引をしている
5. 限度額(1,500万円)が低い
6. 利率(1.5%~2.1%)が高い
7. その他()

問9. 本市の伝統産業である鎌倉彫に関連する製品や事業を検討していますか。

(1つだけに○)

1. 検討している
2. 検討していない
3. すでに実施している(具体的に)

問10. 市内の事業者が無料で登録し、求人情報、製品情報、ビジネスパートナーの募集などの発信や本市からの行政情報を閲覧することができるホームページがあったら、登録を希望しますか。(1つだけに○)

1. 希望する
2. 希望しない(理由)

問11. 問10のようなホームページがあった場合、どのような情報を発信したいですか。

(あてはまるもの全てに○)

- | | |
|-----------|---------------|
| 1. 求人情報 | 2. 製品情報 |
| 3. 受注の希望 | 4. 発注の希望 |
| 5. その他() | 6. 情報発信の希望はない |

問12. 問10のようなホームページがあった場合、どのような情報を収集したいですか。

(1つだけに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 他の事業者の製品情報 | 2. 受注を希望する事業者の情報 |
| 3. 発注を希望する事業者の情報 | 4. 展示会等の開催情報 |
| 5. 講習会等の開催情報 | 6. 法令等の改正 |
| 7. その他() | 8. 情報収集の希望はない |

問13. 他分野や他団体との連携を行っていますか。(1つだけに○)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 教育機関との連携を行っている | 2. 同業種間での連携を行っている |
| 3. 異業種間での連携を行っている | 4. 行政との連携を行っている |
| 5. その他() | 6. 連携を検討していない |

問14. 他分野や他団体との連携を行いたいですか。(1つだけに○)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 教育機関との連携を行いたい | 2. 同業種間での連携を行いたい |
| 3. 異業種間での連携を行いたい | 4. 行政との連携を行いたい |
| 5. その他() | 6. 連携を検討していない |

問15. 本市に対する意見があればご記入ください

()

製造業者及び情報通信業者の方は次へお進みください。

以下は、**製造業者及び情報通信業者の方**へおうかがいします。

問16 市内の製造業者及び情報通信業者が住宅地と混在している地域でも事業を継続しやすいように、環境保全施設等の整備(ハード事業)及び人材育成等の経営革新事業(ソフト事業)に要する経費の一部を助成する鎌倉市環境共生事業等補助制度を知っていますか。(1つだけに○)

1. 利用したことがある
2. 知っているが利用したことはない
3. 知らない

【※問16で2とお答えの方にお聞きます】

問17. 鎌倉市環境共生事業等補助制度を利用しなかったのはなぜですか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 環境保全施設などの整備に回す資金がないため
2. 環境保全施設などの整備に必要性を感じないため
3. 人材育成事業などに回す資金がないため
4. 人材育成事業などを実施していないため
5. 補助金申請の手続きが面倒なため
6. 補助を受ける必要がないため
7. その他()

問18. 貴社で設置を予定している環境保全施設(ハード事業)はありますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. 防音設備
2. 防臭設備
3. 防煙設備
4. 汚水浄化設備
5. 雨水を貯留して利用する設備
6. 太陽光発電設備
7. その他環境に配慮した設備()

問19. 貴社で実施を予定している経営革新事業(ソフト事業)がありますか。

(あてはまるもの全てに○)

1. ISO(9000 シリーズ及び 14000 シリーズ)、エコアクション 21 の認証を取得する事業
2. 従業員を研修会に参加させる事業又は外部講師を招き実施する社内研修事業
3. 製品、技術等を紹介する見本市、展示会又は博覧会に出展する事業
4. 新製品、新技術に係る特許権、意匠権又は商標権を取得する事業
5. その他()

問20. 問18、問19で回答したもの以外に補助を希望する事業がありますか。

()